



「友好の絆」は、
海を越えて



太田理沙：
出発する前までは、市内のショッピングセンターなどで外国の人が話しかけてくると怖いなあと思

き、なかなか英語が通じないのでどこかしく感じました。これからもっと英語の勉強をしていきたいと思いました。
岩腰佳恵：ホストファミリーの人たちは、私の気持ちが沈んでいるとゲームなどをして気を紛らせてくれたのがうれしかった。
足立梨乃：(ダボ市で)英語で毎日会話しているうちに、英語が楽しくなってきました。帰国して学校でA・L・T(注)の先生の話していることが分かるようになりました。

渡辺英哉：ダボ市へ行って来て感じたことは、これから英語を学んでみようかなと思いました。
太田琴美：ホストファミリーの家では、お米を煮ていたので、驚いてご飯の炊き方を教えてあげたら喜ばれました。
ホストファミリーと会話をするとき、いろいろな英語が通じないのでどこかしく感じました。これからもっと英語の勉強をしていきたいと思いました。

山田つぐみ：はじめのころ、英語がなかなか理解できず、話しかけられてあまいな返事をしていたら、とても困ったことがあったので、意味が分からなければはっきり聞き直して、自分が困らないようにしたいと思いました。

向井佑紀美：滞在中に感じたことは、知らない人でも気軽に話しかけてきてくれましたので、これからは私も町中などで話しかけられたら、気軽に話してみようと思いました。
小野木香：出発する前は、絵本の英文の意味が何となく分かる程度でしたが、帰国後に読み直してみると言葉のニュアンスとかが分かるようになり、英語の本を読む印象が変わってきました。

ましたが、ダボ市では向こうの人が気さくに話しかけてくれました。(外国の人に)話しかけられたら優しく接したいと思いました。
村瀬富美子：美濃加茂市の産業について問われて、工作機械メーカーなどがあると話していたら、向こうの人もご存じのようでした。
いろいろな人とお会いして話す機会がありました。その中で痛切に感じたのが、もっともっと英語を勉強して、流ちょうに話したいと思いました。

2004年ダボ市派遣団の皆さん



村瀬 富美子さん

団長



山田 つぐみさん
高校2年生

副リーダー



松浦 由佳さん
高校2年生



太田 琴美さん
中学3年生



渡辺 英哉さん

副団長



長尾 有祐さん
高校3年生



足立 梨乃さん
高校2年生



小野木 香さん
中学2年生



渡辺 旭宏さん
高校3年生

リーダー



太田 理沙さん
高校2年生



岩腰 佳恵さん
中学3年生



向井 佑紀美さん
中学2年生